

連載 - 第16回 - Recommended by the president

経営者のおすすめをご紹介します

社長のRecommend

Pick Up! 今月はおすすめの本をご紹介します

●今月のご紹介者

大同機械製造 株式会社 代表取締役社長 大田 龍一郎 氏



『海賊とよばれた男』 著/百田尚樹 出版社/講談社文庫

[概要]

出光興産創業者の出光佐三をモデルとした主人公・国岡鐵造の一生と、出光興産をモデルにした国岡商店が大企業にまで成長する過程が描かれた歴史経済小説。2016年に映画化作品が全国公開された。

1945年8月15日、敗戦で全てを失った日本で一人の男が立ちあがる。男の名は国岡鐵造。出勤簿もなく定年もない、異端の石油会社「国岡商店」の店主だ。一代かけて築きあげた会社資産のほとんどを失い、借金を負いつつも、店員の一人も滅首せず再起を図る。石油を武器に世界との新たな戦いが始まる。



Q 1 : この本を手にとられたきっかけについて

弊社の国内販売の不振から、それまで細々と受け身で行っていた海外市場への製品販売を今まで以上に積極的に展開するため、2003年頃から年間100～130日のペースで頻りに海外出張をし始めました。その出張の際に飛行機や現地での車の移動時間を上手く活用しようと、よく本を携えていました。その時に会ったのがこの本です。

Q 2 : この本をおすすめしたい理由について

百田さんが私と同じ大学に通われていたことと、出演されていた関西のテレビ番組をよく見ていたので親しみを感じていたこと、そして、以前に読んだ「永遠のゼロ」が非常に詳細な調査・聞き込みをされて書かれていることに大変感銘を受け、「面白いに違いない」と思い、出張先のバンコクの本屋に買いに行きました。

主人公が戦争を挟んで、会社の経営が上手く行かない苦しい時、会社に残ってくれた元社員や同じ志を持った新しい社員らが集結し、決して諦めない社長と一緒に会社を立て直していく様、そして実績に捉われず新たなことに挑戦し続けていく様が、私が業績回復のためにほぼ未開拓であった海外に販路を求めていたものなかなか結果に繋がらず、それでも諦めずに挑戦し続けていた時の背景とオーバーラップし、日本へ帰国の機内で悔し泣きをしながら読んだことを覚えています。

Q 3 : どういった方におすすめしたいですか？

苦しい経営環境から抜け出そうと試行錯誤されている方、または「過去の延長線上に未来は無い」（協会前会長の井上氏【ダイキン工業(株)会長】の言葉）と新たなことに挑戦しようとしている方には非常に勇気づけられる一冊ではないかと思えます。

経営者は孤独であると言われてますが、その一方で神輿（みこし）を担いでくれている周りの多くの人に生かされていることにも、改めて気づかされました。この本の中でも、主人公がその人柄に惚れた周囲の人たちから、金銭面をはじめさまざまな協力を得ながら次々と苦境を乗り越えて行く様が描かれています。

大同機械製造 株式会社

本社：大阪府高槻市深沢町1丁目26番26号

資本金：5,200万円

事業内容：内転歯車ポンプほか各種ポンプ製造

ホームページ：<http://daidopmp.co.jp/>

